

令和3年6月8日  
海事局 海洋・環境政策課  
総合政策局 海洋政策課

## 世界の大型既存外航船へのCO<sub>2</sub>排出規制を条約化へ

～ 国際海事機関（IMO）第76回海洋環境保護委員会（6/10～17）の開催 ～

国際海事機関（IMO）は、6月10日～17日にかけて、第76回海洋環境保護委員会（議長：斎藤英明 国土交通省大臣官房技術審議官）をWeb形式で開催します。

今次会合では、世界の大型外航船への新たなCO<sub>2</sub>排出規制「既存船燃費規制（EEXI）・燃費実績（CII）格付け制度」に関する条約審議をはじめ、気候変動対策、海洋汚染防止対策等、国際海運の環境対策を議論します。

主な審議事項は以下の通りです（詳細 別紙1）。

### 1. 国際海運の気候変動対策

#### （1）既存船のCO<sub>2</sub>排出削減対策

- IMOは、昨年11月、日本主導で19か国・1団体が共同提案した、世界の大型外航船への新たなCO<sub>2</sub>排出規制「既存船燃費規制（EEXI）・燃費実績（CII）格付け制度」の導入に合意し、そのための海洋汚染防止条約の改正案を承認しました。
- 今次会合では、本条約改正案の最終的な審議を行います。採択後は、2023年から新たな規制がスタートします。これにより、従来は新造船のみが対象であったCO<sub>2</sub>排出規制が既存船に対しても適用されることとなります。

#### （2）海運脱炭素化R&D支援国際ファンド創設

- 今次会合では、日本主導で10か国・国際海運団体9団体が共同提案した、海運脱炭素化のための研究開発・実証を支援する国際ファンド創設案を審議します。
- 本提案が実現すれば、創設後10年間で5000億円規模の国際ファンドが構築され、ゼロエミッション船の研究開発・実証が大幅に加速されると期待されます。

### 2. その他

- 北極海における重質燃料油の使用・保持の禁止、排出ガス洗浄装置からの排水に関するルールの調和、シブトリンを含有する防汚塗料の禁止等について審議予定です。



<問合せ先>

海事局 海洋・環境政策課 岩城、高木 直通:03-5253-8118 FAX:03-5253-1644  
総合政策局 海洋政策課 平島、小林 直通:03-5253-8266 FAX:03-5253-1549